

国立市矢川上地区 第2号 令和元年 9月発行 まちづくりニュース

発行元

- ・国立市矢川上地区まちづくり勉強会
- ・国立市南部地域まちづくり課

第1回まちづくり勉強会が開催されました！！

令和元年8月8日(木)に第1回国立市矢川上地区まちづくり勉強会を、東京女子体育大学様に教室をお借りして開催しました。

第1回勉強会では、メンバーの紹介や、勉強会の目的、矢川上地区の歴史、まちの状況等について説明しながら、メンバーの皆様からまちに対するご意見をたくさんいただきました。

今後も2ヶ月に1回程度勉強会を開催し、矢川上地区のまちづくりについて考えていきます。



当日の様子

○第1回まちづくり勉強会の概要

日時	令和元年8月8日(木)19:00~20:40
会場	東京女子体育大学214号教室
出席者	勉強会委員(13名)、国立市南部地域まちづくり課、まちづくりコンサルタント

●プログラム

1. 勉強会のメンバー紹介
2. 勉強会の目的と役割
3. 矢川上地区の歴史
4. 矢川上地区のいま
5. 矢川上地区のいろいろな計画

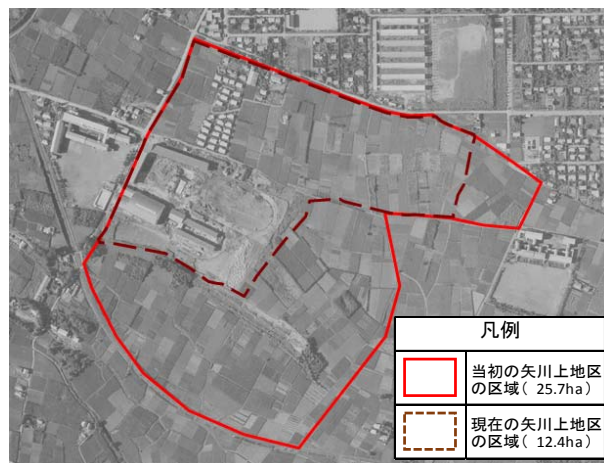
○まちづくり勉強会の目的

一面畑であった矢川上地区は、昭和36年(1961年)に土地区画整理事業が決定され、実施されることなく58年が経過しています。

(右図の赤枠部分)

その間に住宅、マンション、大学等が道路、水道、下水道などの生活基盤と共に整備され、一部、狭小な道路や行き止まり道路を残しつつ、市街地が形成されてきました。

こうした中、この地区のまちの状況などを理解した上で、利便性や防災性など様々な視点で土地区画整理といった手法にとらわれず新たなまちづくりについて皆様と検討していくことを目的としています。



昭和36年(1961年)の航空写真

○委員の皆様からいただいた主な意見・質問

●矢川上土地区画整理事業について

なぜ58年間も事業未着手だったのか？

⇒減歩負担などへの合意形成の難しさや、民間による市街地整備の進展により区画整理事業のニーズが低下し、これまで事業化に至りませんでした。

都市計画事業として計画があったのに、民間開発に対して指導はしてこなかったのか？

⇒計画区域の中では、法律に基づき建物の高さや構造などの制限を行ってきました。

●矢川上地区のまちについて

① 現在のまちについて

グランソシエの間の道路を通る車のスピードが速く、車の走行音も大きい。

自転車に乗っていると、ナビマークの表示があるのに、車とすれ違う際に非常に怖い思いをする箇所がある。

国立市は南北に繋がる大きな道路が無いので、生活道路に通過交通が入ってきてしまい安心して歩けない。

国立市は車が他地域から入りづらい道路構成となっているため、静かな環境が守られているとも考えられる。

② 将来のまちについて

地区北側の住宅地の中には幅員が狭い道路がいくつかあり、防災上の課題があるので、解消した方が良いと思う。

少子高齢化や、人口減少などが進行している中、わざわざ新しい道路を作らなくても良いと思う。

住宅街の狭い道を解消することが本勉強会の目的だと思うが、大きな道路ができるのとは方向性が全く変わると思う。

この地区の道路は、長い年月をかけて現在の幅員まで広がった。周辺にもそれなりの幅員の道路が整備されているので、このままでも良いかと思う。

③ その他の意見

都市計画道路の計画があることは、住宅を購入する際に聞いていた。

30年間この地区に住んでいるが市外へ勤めに出ており、まちのことをあまり知らないため参加した。

昭和36年当時の都市計画の考え方を調べて教えてもらいたい。また、これから先、安心・安全なまちに向けてどのようなことが必要になるのかも教えてもらいたい。

⇒次回の勉強会までに当時の考え方や、安全安心に向けて取り組んでいる他地区の事例等を報告します。

○次回のまちづくり勉強会について(10月下旬から11月の開催を予定)

次回のテーマは…

自分たちの住む“まち”の良いところや課題を見つけよう！

～お問い合わせ～

国立市 都市整備部 南部地域まちづくり課 計画整備係 担当：山崎
〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1
TEL：042-576-2111(内線：372) FAX：042-576-0264
E-mail：sec_nanbuseibi@city.kunitachi.lg.jp